

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	A-142	23-098 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
<p>The relationship between time spent on social media and adolescent alcohol use: a longitudinal analysis of the UK Millennium Cohort Study</p> <p>ソーシャルメディアに費やす時間と思春期のアルコール使用の関係：英国ミレニアム・コホート研究の縦断的分析</p>		
執筆者		
Purba AK, Henderson M, Baxter A, Katikireddi SV, Pearce A.		
掲載誌		
Eur J Public Health. 2023 Dec 9;33(6):1043-1051. doi: 10.1093/eurpub/ckad163.		
キーワード		PMID
ソーシャルメディア使用、アルコール使用、一気飲み、親の教育レベル		37699850
要 旨		
<p>目的：14 歳のソーシャルメディア使用が、17 歳時点でのアルコール使用および一気飲みのリスクと社会環境に及ぼす影響を推定することを目的とした。</p> <p>方法：ミレニアムコホート研究データを用いて、ソーシャルメディアの利用時間（質問票[n = 8987]とタイムユースダイアリー[n = 2520]による評価）と、過去 1 か月のアルコール使用頻度および一気飲みとの関係を、調整オッズ比（AOR）および調整相対リスク比（ARRR）を用いて推定した。また親の教育レベルが低い群と高い群を比較し、効果修飾の有無を検討した。解析は交絡因子、逆因果関係を考慮したベースラインのアウトカム指標、サンプルデザイン、脱落および項目の欠測（多重代入法による）を考慮した。</p> <p>結果：ソーシャルメディア利用時間は、アルコール使用および一気飲みのリスク増加と用量反応関係を示した。1 日 1～30 分未満のソーシャルメディア使用者と比較して、1 日 30 分～1 時間未満の使用者は月に 6 回以上のアルコール使用（ARRR 1.62 [95%CI: 1.20～2.20]）、一気飲み（AOR 1.51 [1.22～1.87]）の可能性が高く、1 日 1～2 時間未満の使用者（ARRR 2.61 [1.90～3.58]; AOR 2.06 [1.69～2.52]）、1 日 2 時間以上使用者（ARRR 4.80 [3.65～6.32]; AOR 3.07 [2.54～3.70]）も同様であった。タイムユースダイアリーで測定されたソーシャルメディアの利用は、より高いリスクと関連していたが、常に用量反応関係を示すわけではなかった。一気飲みに対するソーシャルメディア使用の影響は、親の教育レベルが高い群で低い群と比較して大きかった。全ケースサンプルでの解析、およびベースラインアウトカム指標で調整した解析でも一貫した結果が得られた。</p> <p>結論：ソーシャルメディアの使用により、アルコール使用および一気飲みのリスクが高まる可能性が示唆された。青少年を有害なアルコール関連のソーシャルメディアコンテンツから保護するための規制措置が必要である。</p>		